

吉田（護）研究室（環境計画学）

教員名：吉田護

● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

都市・地域で生活する中で、私たちは様々なリスクにさらされています。中でも、**自然環境に起因した災害**は、滅多に発生しませんが、発生した際には私たちに甚大な被害をもたらすリスクの一つです。こうしたリスクにいかに対処するか、本研究室では、**評価、マネジメント、ガバナンス**等の視点から本課題に取り組んでいます。

自然災害への対策・対応を考える上で、「**自助・共助・公助**」という枠組みが広く知られています。自助とは自分の命は自分で守ること、共助とは地域コミュニティや企業などで助け合うこと、公助とは行政による救助や支援のことを指します。

住民にどのように**災害への備え**や**避難行動**を促すか（自助）、どのように**自主防災組織**の活性化を促すか、どのように地域で**災害時要援護者**（高齢者など）の支援策を整えるか（共助）、堤防や砂防といった**社会基盤施設**の整備をどのようにすすめるか、**土地利用規制**の効果をどのように把握し、また実施するか（公助）など、各領域において実社会に則した多くの研究課題があります。また、災害対策・対応では、住民、自治体は勿論のこと、企業やNPO、教育機関、警察・消防、病院など**地域減災関係機関間の協働・連携**が求められています。この協働・連携をどのように促すかは大きな課題となっています。

こうしたテーマに対し、本研究室ではアンケート調査やワークショップ、統計分析、シミュレーション分析などを通じて取り組んでいます。



太田川（広島県）の水害

● 先輩はどんなところに就職しているの？

新しい研究室ですので卒業生はおりませんが、私が関わった学生は、官公庁や地方公共団体などの公的機関、銀行や損害保険会社などの金融機関、ゼネコンや建設コンサルタントなどの民間企業などに就職しています。